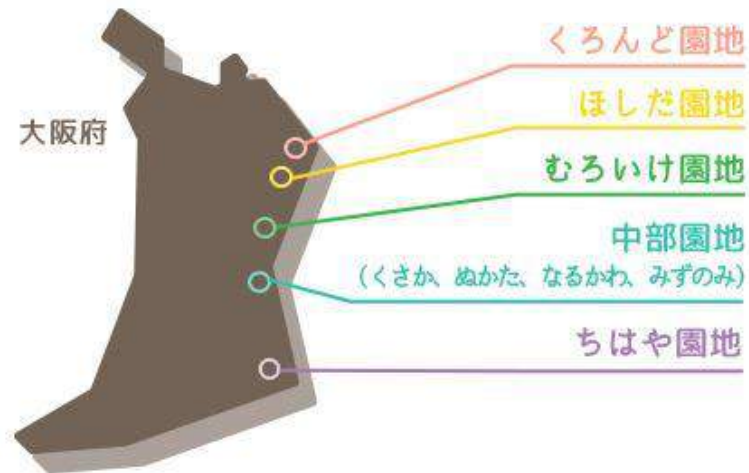


野外活動の安全管理 補足説明資料

補足1: アクティビティ毎の安全管理

(各園地のイベントの例)

大阪府



登山・ハイキング

- ・あじさいトレッキング、ナイトハイク(中部:生駒)
- ・初登り・豚汁、ナイトハイク(ちはや:金剛山)
- ・むろいけ園地からほしだ園地まで歩こう会(むろいけ)

森遊び

- ・可愛い鯉のぼり工作(むろいけ)
- ・作ってみよう! 水てっぽう(むろいけ)
- ・交野わんぱく村:丸太切り/皮むきなど (くらんど)

野外料理

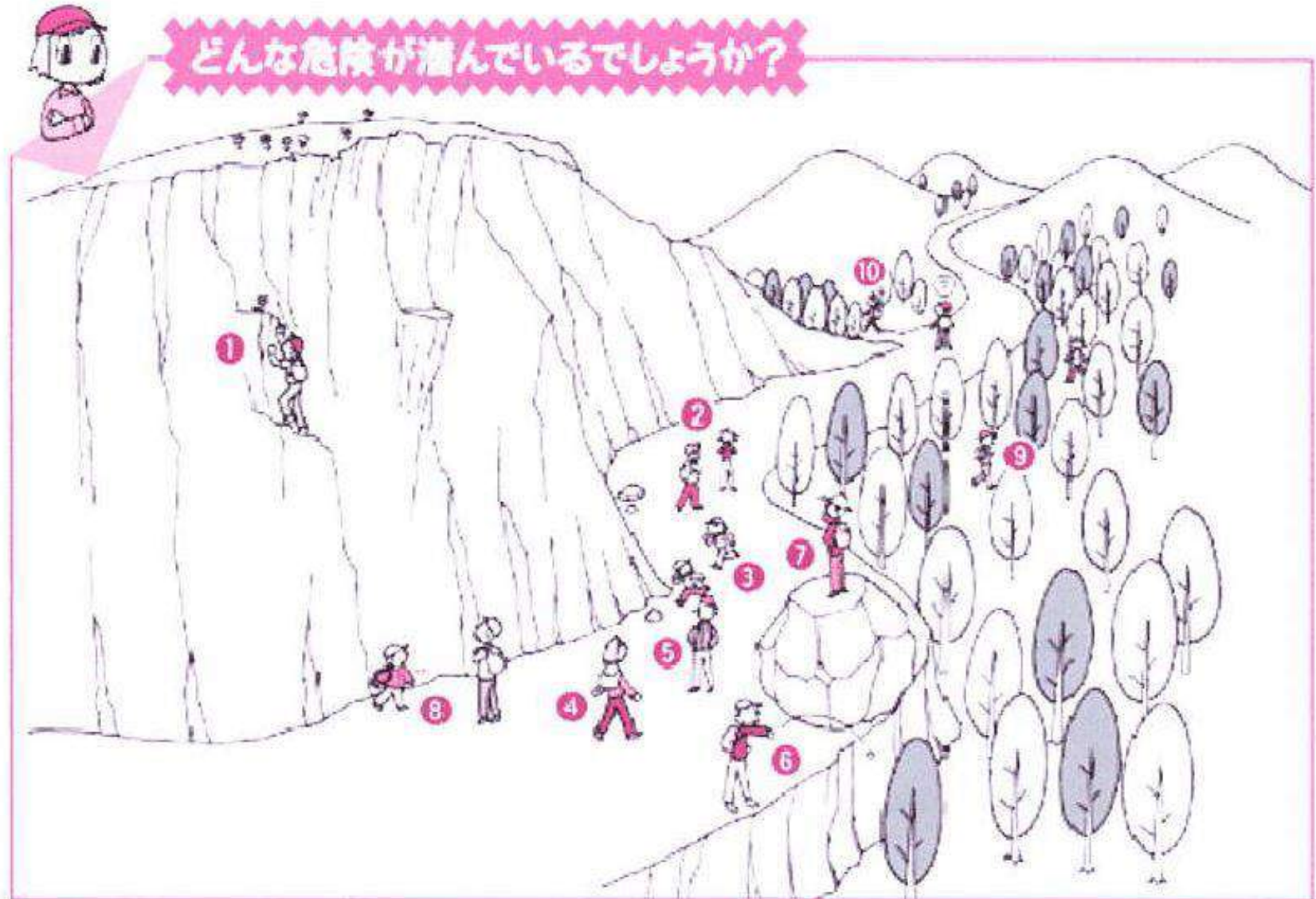
- ・ダッチオーブンで野外料理(くらんど)
- ・金剛山の春まつり 森のピザ屋さん(ちはや:金剛山)

クラフト

- ・クリスマスリース(ほしだ、中部:生駒)
- ・門松作り(中部:生駒)
- ・工作会のイベント(ほしだ、中部:生駒)

(アクティビティー別 安全管理の例)

・登山・ハイキング



・登山・ハイキング

- 1 崖を登っている → 滑落や落石誘発
- 2 うしろ向き歩行 → 転倒
- 3 走って下る → 転倒、出会いがしらの衝突
- 4 無帽 → 日射病
- 5 両手が塞がる → 転倒時のケガ
- 6 石を投げている → 別のハイカーに当たる
- 7 岩/石に上がる → 滑落(特に雨やコケに注意)
- 8 厚着 → 歩き始めると汗を欠いて暑気したり、汗で体が冷える
- 9 ハイキング道以外を歩く → 危険箇所、危険生物、道迷い
- 10 道迷い

・登山・ハイキングでの具体事例

危険な所では、参加者もスタッフも、みんな注意している



月の輪滝
@くろんど園地



葛木神社
@金剛山
/ちはや園地

軽アイゼン着用！



龍岩窟
@くろんど園地



ナイトハイク
@ちはや園地

・登山・ハイキングでの具体事例

あまり危なそうに見えない所で、
ヒヤリ・ハットが起きたりする



湿性花園
@むろいけ園地

疲れてくると
下りで、丸太を踏み外したり、
丸太を止める釘にひっかかりたりする



久留野峠
@金剛山
/ちはや園地



さわわたりの路
(ポットフォール)
@くろんど園地

・登山・ハイキングでの具体事例

一つのことには注意していると、別の危険が迫ってたりする



ササユリを見に
藪に入ると
マムシが
@くろんど園地



説明に聞き入るが
後ろの木で
スズメバチが沢山
@ほしだ園地



石垣の修復を見に
行こうとして...
@飯盛山



自然解説で桐の種を
説明しようと
中を開いたら...
@ほしだ園地

(アクティビティー別 安全管理の例)

- ・刃物を使う場合：丸太切り マニュアル

(事例)
交野わんぱく村
@くろんど園地



① 固定型の馬 (馬脚がしっかりしていること)



② 簡易型の馬 (左テーブルに置いた所、



右:裏面に滑り止めを付ける)



③ 固定型の馬に丸太を載せたところ



④ 簡易型の馬に丸太を載せたところ



⑤ 切る時の足位置(簡易型の場合も同じ)



(アクティビティー別 安全管理の例)

・野外料理マニュアル

- ・食品の取り扱いと衛生管理
食材購入時期、現地での保管
参加者のアレルギー事前確認
食中毒の防止(手洗い、器具消毒、まな板/包丁の使い分け、
十分な加熱、作り置きしない、飲食用には沸かした水) など
- ・参加者への調理の安全指導

(事例) 石窯ピザ作り&ネイチャーガイド@ちはや園地



作り置き？
→ピザのトッピング



お子さんへの調理支援



高温のピザ釜へは
近づかせない

補足2:参加者への告知

- ・イベントのオリエンテーション時に予測される危険と注意を話す
例)ハイキング道の通行危険箇所、熱中症対策、道具の使い方など
また自分の身は自分で守る(自己責任)意識の徹底は大事です
安全の確保は自分のこととして考えてもらうのが一番の安全管理
- ・安全の告知文を配布し説明する --> 次ページ
イベントの代金受け取り時に告知文を渡して口頭で説明する
- ・写真を撮らせてもらうことのお断り
活動記録/HP掲載のために撮影
(個人情報保持の点より顔の正面、大写しなどにならないようにする)

参加者への告知文 (領収証版もあります)

安全に楽しく自然を体験していただくために

1. 野外の活動では基本的に自分の身は自分で守って下さい
2. 保護者の方はお子様を見守り安全には十分に注意して下さい
3. 主催者の注意事項をよく守りスタッフの指示に従って行動して下さい
4. 催し中に体調不良で行動できないと思ったらすぐスタッフに連絡して下さい



NPO 法人日本パークレンジャー協会

新型コロナウイルス感染防止のお願い

1. 体調がよくない方(37.5 度前後の熱、咳やのどの痛みなど)は催しの参加はご遠慮ください
2. 催し参加中は原則マスクの着用をお願いします(着用のない時は参加をお断りすることがあります)
3. こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒をして下さい
4. スタッフ及び他の参加者との距離は 1m 以上取り、大声で会話はしないで下さい
5. 感染防止のために催し参加中は主催者の指示に従って行動して下さい
6. イベント終了後 2 週間以内にコロナ感染した時は下記にその旨を直ぐに連絡して下さい
(NPO 法人日本パークレンジャー協会 TEL 06-4703-5226 , mail: info@japan-parkranger.com)

補足3: 救急法の説明動画(例)

- ・日本赤十字社がYoutubeの投稿した、救急法の解説や研修での動画(注)内容は毎年更新されていて、投稿動画は古いものもあるの注意必要。
日赤以外に消防署などからも投稿あり、微妙に異なりますが内容は同じです。

一次救命処置(BLS)～心肺蘇生とAED～

https://www.youtube.com/watch?v=N_b5wYiRwZE



赤十字救急法<手当の基本> 状態確認と回復体位

<https://www.youtube.com/watch?v=OAYRQQirFa4>



きずの手当て<包帯>三角巾・使用法(頭)

<https://www.youtube.com/watch?v=WS354KluV0o>

搬送～応用担架(毛布)で運ぶ方法

<https://www.youtube.com/watch?v=5AYvrN2hDBY>

補足4: JPAが契約している保険(例)

1. 保険の種類と補償

保険の種類	ボランティア保険	参加者障害保険 (イベント保険)	森林ボランティア 保険
取扱会社	社会福祉協議会 (三井住友海上)	ジェイアンドエス 保険サービス	森林ボランティア 協会(甲南保険)
賠償責任	5億円	-	1億円
死亡・後遺症	2090万円	300万円	1000万円
手術	入院日額x5~10倍	入院日額x5~10倍	-
入院(1日当)	11,000円	3000円	5000円
通院(1日当)	5000円	2000円	3000円
掛金	500円(Bプラン)	約20円/人	Aタイプ

チェーンソー利用時

活動の対象者など他人の
身体や財物に損害を与え、
法律上の賠償責任を
負った場合

ボランティア自身が
ケガをした場合

2. 事故やケガが発生したら

1. 事故やケガの発生の旨をすぐに事務局に電話で伝える (理事長、又は副理事長宛に一報)
2. 保険担当(現時点近本さん)は事故発生の旨を保険会社に連絡する
3. 事故・ケガ発生時のリーダー、又は事故時に立ち会った人が報告書を作成して事務局に提出する。
4. 保険会社から保険の申請に必要な書類が本人に送られるので、本人が記述し、必要書類(領収証や証明書など)を準備し保険会社に提出する。